

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	Si-Ge 系スーパーアトム構造のセルフアライン集積による光・電子物性制御
研究代表者	宮崎 誠一（名古屋大学・大学院工学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成30年度
審査結果の所見	<p>本研究は、応募者がこれまで取り組んできた Si ナノドットの位置制御、不純物制御、電荷注入、赤外発光等の実績に基づいたものであり、大変挑戦的で世界でも類をみない研究である。これまで応募者は本分野で豊富な実績を上げており、今後も斬新な多くの成果が期待できる。</p> <p>これまで達成した発光デバイス研究成果を基に、デバイス特性の数値目標を明確かつ具体的に示すべきであるという意見もあったが、以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>